

[材料と針・道具]

malabrigo MORA (50g 玉巻 205 m)
Col. 036 [ライトグレー] … 50 g (1 かせ)
4 号かぎ針
はかり

[出来あがりサイズ]

16 cm (横最大) × 125 cm (縦最大)

[ゲージ]

模様編み 10 cm 平方で、横 13 模様 × 縦 9 段

[つくり方]

【本体前半】

1. くさり 1 目で作り目をして編みはじめます。
1 段目の長編みは、作り目のくさりの向こう側 1 本と裏山を拾って編みます。
2 段目以降、前段の立ち上がりのくさに編む長編み（もしくは長々編み）は、立ち上がりのくさりの 3 目めを割って編みます。

2. 前半は、毎段右端で増目をしながら編みます。
増目の編み方は 6 段 1 模様となり、これを 9 回繰り返して 54 段目まで編み進めます。
ここまでが本体前半になります。

3. 54 段目を編み終えたら、編み地と残り糸の重さを測ります。

編み地の重さよりも、残り糸の重さのほうが 7 g 程度重くなっているかを確認してください。

本体後半で使う糸量は、前半とほぼ等しく、さらにふち編みで 7 g 程度使用します。

例えば、

編み地：21 g

残り糸：28 g (21 g + 7 g)

くらいになっていれば OK です。

残り糸が十分だった場合は、「本体後半 編み図①」にしたがって本体後半を編みます。

残り糸が少なかった場合は、54 段目をほどこき (53 段目までを前半とします)、「本体後半 編み図②」にしたがって後半を編んでください。

【本体後半】

「本体後半 編み図①」では、56 段目以降、毎段右端で減目をしながら編みます。減目の編み方は 6 段 1 模様となり、これを 9 回繰り返して 109 段目まで進み、最後に 110 段目を編んだら編み地を表に返します。

「本体後半 編み図②」では、55 段目以降、毎段右端で減目をしながら編みます。60 段目以降、減目の編み方は 6 段 1 模様となり、これを 8 回繰り返して 107 段目まで進み、最後に 108 段目を編んだら編み地を表に返します。

【ふち編み】

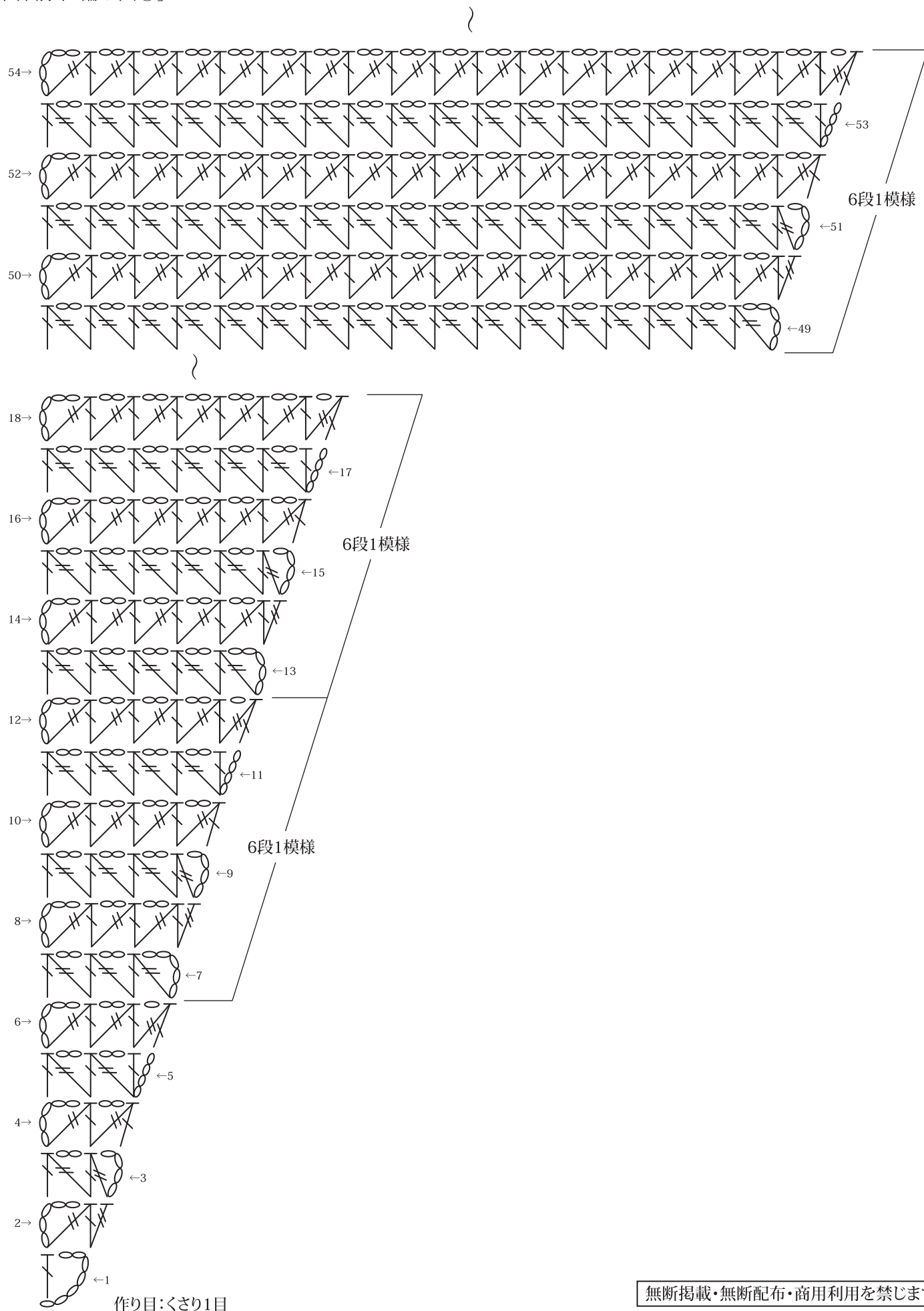
1. 本体の糸でつづけてふち編みをします。
本体を「編み図②」で編んだ場合も、Page 06 ~ 07 に準じて編んでください。
ふち編みは編み地の表を見ながら編みます。
本体編み終わり側の端から編みはじめ、まずは三角形の長辺を編みます。
三角形の長辺は、本体の 1 段につきこま編み 3 目を目安に編みます。
2. 三角形の短辺も、基本的には本体の 1 段につきこま編み 3 目を目安に編みますが、編み図に太線記号で示した箇所はこま編みを 4 目編みます。
ふち編みで 1 周したら糸を切ります。



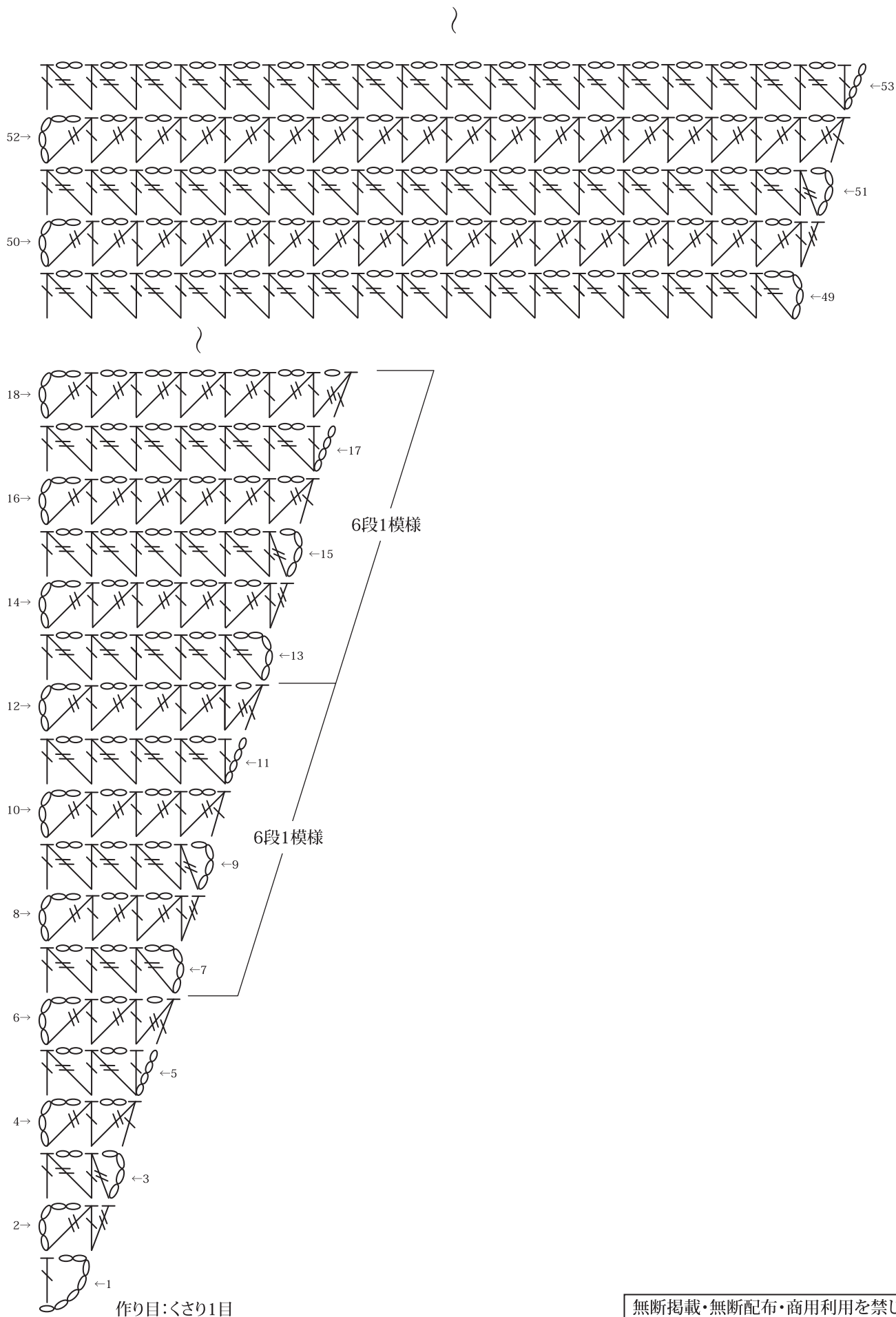
[糸提供] malabrigo Japan

糸のご購入はオンラインショップから
<https://www.malabrigojapan.jp/>

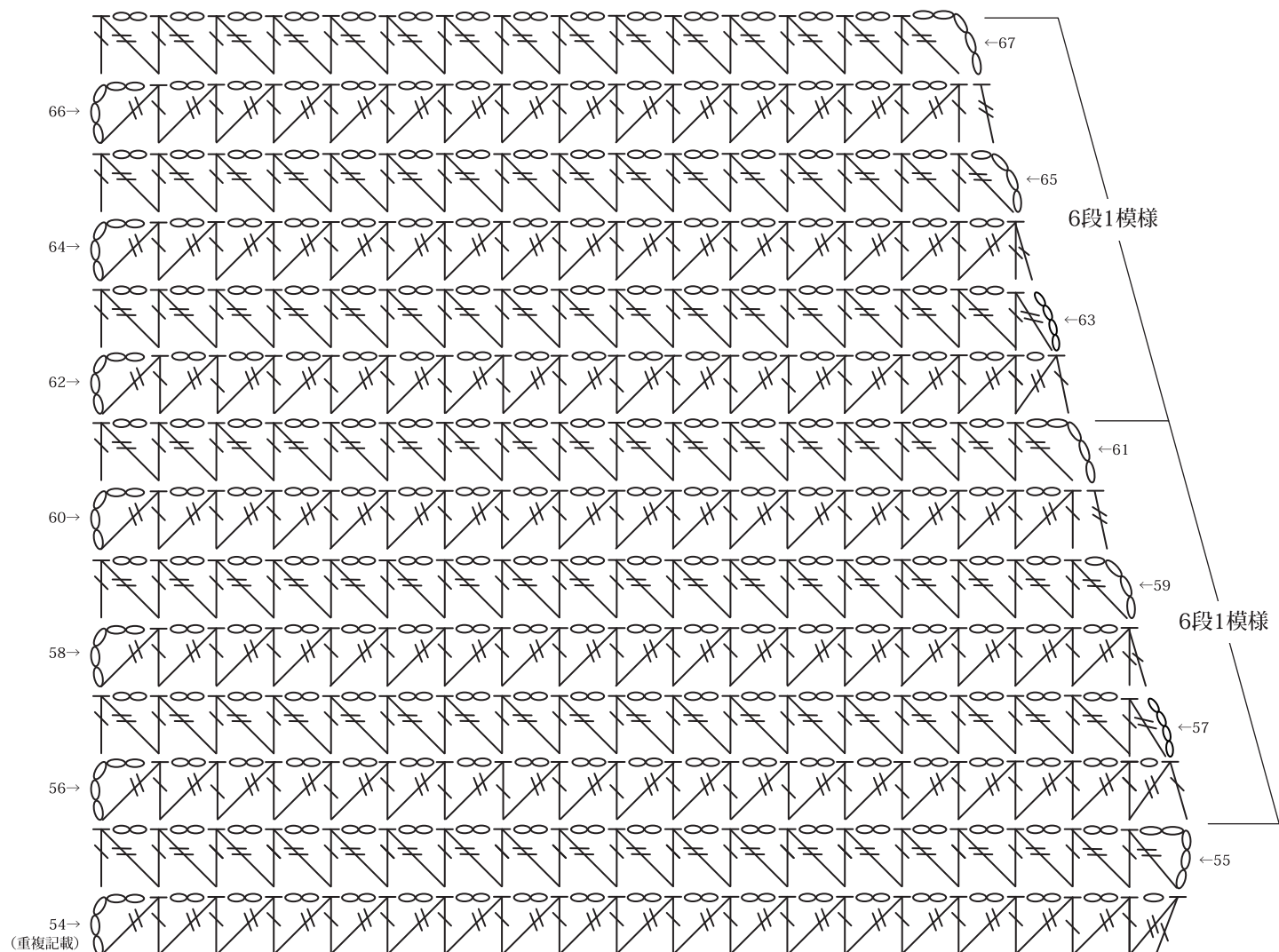
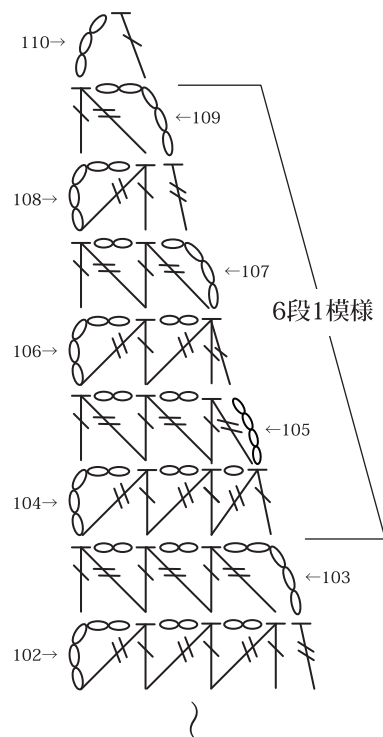
[本体前半 編み図①]



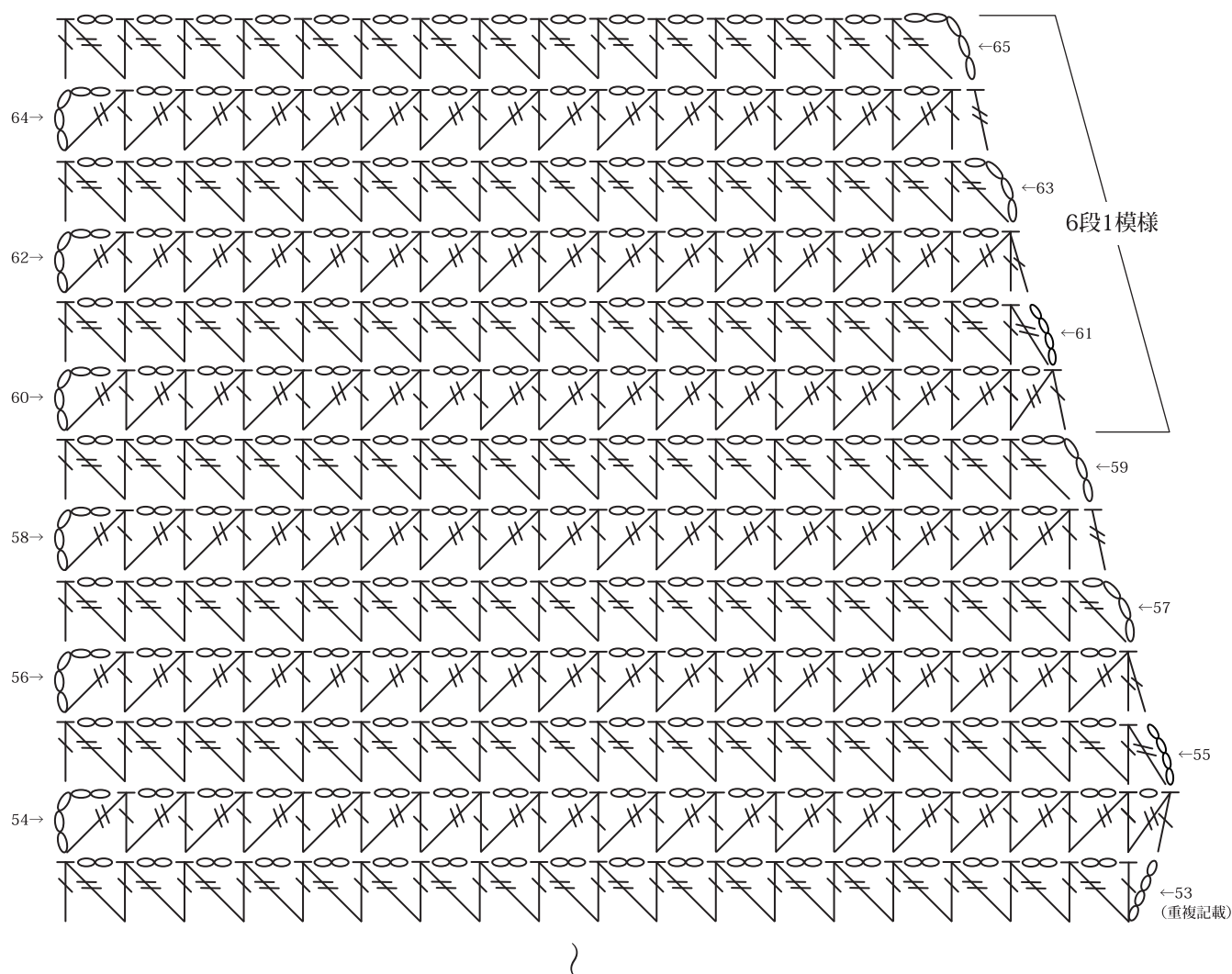
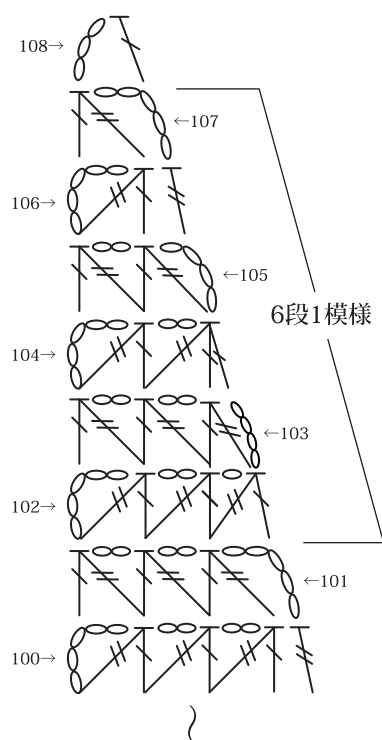
[本体前半 編み図②]



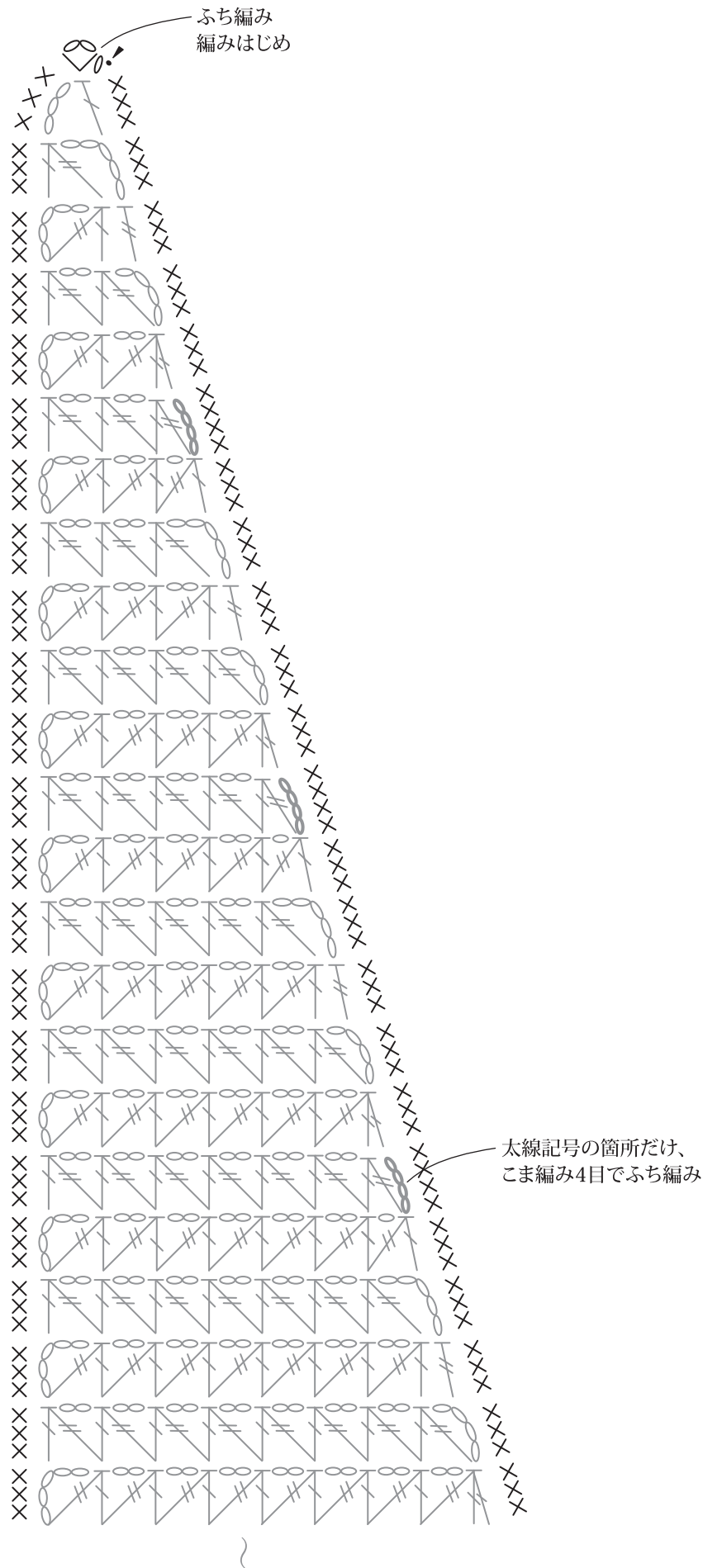
[本体後半 編み図①]



[本体後半 編み図②]



[本体後半ふち編み 編み図]



[本体前半ふち編み 編み図]

